

未来構想レター (新年号)

一般社団法人未来構想会議

-Forum on Future Vision-

2026年1月1日



〒100-6015 東京都千代田区霞が関三丁目
2番5号霞が関ビル15階 JWD内
電話：03-6625-0723/ FAX:03-6625-0724
E-mail: info@ffv.jp

ぜひホームページ <https://ffv.jp/> を訪問してください。

様々なしがらみから解き離れた観点から、独立のシンクタンクとして、大胆に社会に提言を行い、SDGsの達成と持続可能な開発の構築に向け活動を行います。「未来構想レター2026 新年号」をお届けいたします。

新年のご挨拶



会長 河村建夫

新年あけましておめでとうございます。

未来構想会議が発足して、はや三年を経過した。今後とも、増子理事長のリーダーシップのもと、富田副理事長とともに、日本の未来、発展を考え、さらに有識者と議論を重ね、政府を動かす提言を発信して参りたい。



理事長 増子輝彦

恭賀新春

石の上にも三年、(一社)未来構想会議もスタートして4年目を迎える事が出来ました。河村会長、富田副理事長はじめ理事・監事各位のご指導ご支援、また各種会員各位の多大なるご支援に御礼を申し上げます。本年は午年、あらゆる物事が馬(うま)くいくように全力疾走して行きます。新たなアジェンダとして、「2050年ビジョン」策定を掲げました。大きく揺れ動く世界情勢に流される事なく確固たる政策提言を行っていきたいと思います。



副理事長 富田茂之

謹賀新年

昨年は、長年誘致に尽力してきた、故郷銚子沖の洋上風力発電開発が一時撤退し、地元JR津田沼駅南口の再開発事業も延期となり、残念な事が続きました。今年こそ、故郷や地元に明るい兆しが見える年にしたいものです。

新年のお慶びを申し上げます

理事・監事・事務局長 本年の抱負

理事 事：伊藤庄平、大川達也、大久保勉、大久保泰典、岡島礼奈、蒲生篤実、蒲原基道、
齊藤鈴華、谷口久徳、樽見英樹、塚脇正幸、松本千穂、由木文彦
監 事：生貝健二
事務局長：原 里緒

大川達也理事(株式会社アルテニカ取締役副社長)

変化のスピードが速い今、知識だけでなく「感性」で時代を捉える姿勢を大切にしたいと存じます。皆様の知見に学びを深めつつ、私が感じた素直な違和感や共感が、議論の一助となれば幸いです。

大久保勉理事(元参議院議員・元久留米市長)

AI時代においてAIでは代替できない価値を見極め、若い世代に伝えていきたい。スタートアップ支援と地域のために尽くす活動を続けるとともに、私事ではマラソンやトレイルランの完走を目指す。

岡島礼奈理事

(株式会社ALE代表取締役・中国電力株式会社社外取締役)
昨年の中国電力の社外取締役拝命を機に、原子力や福島への関心が一層自分事となりました。本年は本業である流れ星プロジェクトの実現に全力で取り組みつつ、エネルギー業界とのかかわりも深めていきたいです。

蒲生篤実理事

(元観光庁長官・日本政府観光局(JNTO)理事長)

おかげさまで、コロナ禍後は、我が国へのインバウンドは着実に回復してきております。これも応援してくださる方をはじめとする関係者の方々の温かいご協力と励ましのおかげと改めて感謝申し上げます。一方、年末近くになって近隣の大きなお国との間で緊張する事案が発生し、夫婦喧嘩とは言いませんが、「お隣同士」。やがて落ち着いていくことと思っております。「お隣さん同士、引っ越すわけにもいかんのだから大人の対応(笑)で前を向くしかないね。先方の「技」は先ずはしっかり受け止めないとなあ」などと職員と話しながら、振り返れば昨年也是如此とありましたが、インバウンド旅客数は、史上最多を超える勢いです。訪日客にとって、また、受け入れ側の我が国の地域の方々双方にとって意義のあるインバウンド観光となることを祈念し、本年の抱負とさせていただきます。

蒲原基道理事（元厚生労働省事務次官・日本生命保険相互会社特別顧問・社会福祉法人友愛十字会理事長）
今年も各分野での人手不足の問題が続くのでしょうか。医療や福祉に携わる人材、地域で見守り活動などを行うNPO、さらには街の商店街のお店の方など、人々の日々の暮らしを支える人材の確保に向け、皆で取り組んでいくことが必要だと思います。

斉藤鈴華理事（弁護士）
二人の幼い子を育てる日々から、支え合いの尊さを実感しています。弁護士として出会う一人ひとりに誠実に向き合い、その積み重ねと現場の声を社会への提言につなげていきたい一年です。

樽見英樹理事（元厚生労働省事務次官・日本年金機構副理事長）
「社会保障」は「安全保障」と同じく、我が国社会の安定・安心と経済発展のための工夫であり仕組みです。この原点を忘れずに、今年もこれからの医療や年金の在り方について考えていきたいと思っています。

松本千穂理事（医療法人博文会理事長）
昨年は皆様のご協力のもと、念願だった双葉病院の復興と

して、いわき市に市里病院をフルオープンすることができました。本年は「市里病院ができてよかった」と言われるよう、地域の精神医療福祉の充実に寄与してまいります。

由本文彦理事（元復興事務次官・東日本高速道路株式会社代表取締役社長）
能力の低い人は自分の能力の低さが理解できない→他人の実力も正しく評価できない→自分の力を現実より高く評価する→根拠のない自信がチャレンジを生む→成長する!! 今年もこのダニングクルーガー効果を実践します。

生貝健二監事（元富士通株式会社代表取締役副社長）
明けましておめでとうございます。様々な課題のある日本ですが、未来構想会議の活動を通して、一步一步解決につながっていくことを願っております。今年もよろしくお願い申し上げます。

原里緒事務局長
事務局に入り1年が経ちました。各会員様のご活躍や理事監事の活動を間近に拝見し、日々勉強させていただいております。今年も精一杯皆様のサポートをさせていただければと存じます。

未来構想会議 第9回理事会
2025年12月1日 於：日比谷松本楼

一般社団法人未来構想会議は12月1日(月)に第9回理事会を開催しました。理事12名、監事1名が出席。出席理事:河村建夫、富田茂之、増子輝彦、伊藤庄平、大川達也、大久保勉、岡島礼奈、蒲生篤実、蒲原基道、斉藤鈴華、松本千穂、由本文彦。出席監事:生貝健二。報告事項として、①事務局から6月～11月の事業報告、②令和7年度中間決算報告、決議事項として①「令和8年度事業計画・予算案」について事務局から内容の説明が行われ、新たなアジェンダとして「2025年ビジョン」策定を掲げました。協議の上、原案どおり決議されました。続いて懇親会が行われ、富田副理事長の挨拶と乾杯の発声のもと、和やかな懇親会の後、蒲原理事による中締め挨拶で閉会しました。



2025年11月13日 第31回勉強会
「歴史の転換点とトランプ2.0」
講師：森健良氏（元外務省事務次官）

講演の要約

森健良氏の「時代は『転換点』を過ぎ、既に転換しており、世界秩序が崩落していく」との認識のもと、次の秩序の形成に向けて最大限日本の安全と繁栄を保障する外交を行うために、アメリカの政治状況と外交関係について包括的な議論が行われ、トランプ大統領の政治姿勢、経済政策、国際関係の変化について話し合われました。参加者たちは、民主主義の衰退、ロシア・ウクライナの関係、中国との関係、そして日米同盟の重要性について検討し、現在の国際秩序の変化に伴う日本の安全保障戦略の必要性が強調されました。会議の後半では、外交の課題と戦略的アプローチ、そして政治的リス

ク、移民政策、核武装、米中関係について議論が展開されました。森氏は、トランプ政権の現状分析を下記のように示しました。

支持率の動向

- ・ 政府閉鎖の影響により支持率が低下しているが、共和党支持者の支持は依然として堅調
- ・ 非大卒白人男性からの圧倒的な支持が継続
- ・ ヒスパニック系有権者の支持が当初は高かったが、最近急速に低下している傾向

政策の特徴と課題

- ・ 製造業復活政策:
- ・ 関税引き上げによる製造業回復を目指す、具体的な産業政策は不足
- ・ 移民制限とエネルギー開発推進を重視
- ・ 経済政策の矛盾:

- ・ 関税と移民制限はインフレ要因となる可能性
- ・ バイデン政権のインフレを批判しながら、同様の政策を推進

外交政策の方向性

政権内の 3 つの派閥

- ・ 孤立主義者:世界情勢への関与を最小限に抑制
- ・ MAGA ナショナリスト:中国対抗に全力集中、他地域への関与縮小
- ・ レーガンの国際主義者:価値観に基づく国際秩序の維持を重視

ウクライナ問題への対応

- ・ 当初はプーチンに融和的姿勢を示していたが、最近では圧力をかける発言も
- ・ ヨーロッパに対して GDP5%の防衛費負担を要求し、合意を取り付け
- ・ 最終的な解決策については明確な戦略が見えない状況

インド太平洋地域への影響

同盟国との関係悪化

- ・ インドや ASEAN 諸国に対して高関税を課し、関係が悪化
- ・ 韓国も米国進出企業への影響で不満を表明
- ・ 日本以外の多くの国がアメリカの政策に批判的

中国との関係

- ・ 中国を最大の問題と位置づけながらも、本格的な対抗策は不明確
- ・ 台湾への武器輸出を一時停止するなど、一貫性に欠ける対応
- ・ 習近平との個人的関係を重視する傾向

日本への提言

当面の対応策

- ・ 防衛力強化:
- ・ 自国防衛力の向上が最優先
- ・ 防衛産業の強化と輸出促進
- ・ 核武装についても真剣な検討が必要
- ・ 同盟関係の強化:



- ・ 日米共同オペレーションの拡充
- ・ 武器の相互運用性向上
- ・ 欧州、韓国、フィリピンなど他のパートナーとの連携深化

長期的戦略

- ・ トランプの個人的関係重視の特性を活用
- ・ 高市総理とトランプの良好な関係を基盤として、具体的な協力内容を構築
- ・ 新しい国際秩序構築への参画準備

今後の展望

希望的要素

- ・ トランプ自身の学習能力と外交への積極的関与
- ・ ノーベル平和賞への強い関心が協調的外交の動機となる可能性
- ・ 民主党内での社会主義的政策への回帰傾向

懸念事項

- ・ 民主主義制度への攻撃継続
- ・ 外交戦略の不在と思いつきの政策運営
- ・ 政権内の人材不足と継続性の欠如

対応事項

防衛力強化計画の具体化と予算確保

日米同盟強化のための具体的施策検討

他国との多国間連携枠組み構築

トランプ政権との継続的対話チャンネル確立

核武装問題を含む安全保障政策の包括的検討

増子輝彦理事長、富田茂之副理事長、岡島礼奈理事、樽見英樹理事、由木文彦理事が出席。関信行・株式会社関建設代表取締役が ZOOM で参加。

2025年12月8日 廃炉説明会
「福島第一原子力発電所の廃炉のための
技術戦略プラン2025」
講師：山名元氏
(原子力損害賠償・廃炉等支援機構理事長)

講演の要約

プロジェクトの進捗共有／状況報告

2号機燃料デブリ試験的取り出しの進捗

- ・ 2023年11月:0.69グラムの燃料デブリを回収
- ・ 2024年4月:0.19グラムの燃料デブリを回収
- ・ 遠隔操作装置を使用し、22メートルの腕を伸ばし

てピンセット状の器具で採取

- ・ 電子顕微鏡による元素分析を実施
- ・ ウラン、ジルコニウム(被覆管材料)、ニッケル、クロム(ステンレス構造材)が混合して固化
- ・ 2000 数百度の高温で熔融後、格納容器底部に落下して固まったことを確認
- ・ 軽石状でもろい性質を持つ
- ・ セシウムはほとんど検出されず(高温時に蒸発したと推定)

3号機本格取り出し計画

- ・ 1、2、3号機合計で880トンの燃料デブリが存在

- ・ 3号機単体で約350トンの構造材とウランの混合物
- ・ 建屋上部に新たな建物を建設し、上部および横からのアクセスを計画
- ・ 準備作業(建物の建設、点検、除染、整地など)には、最長で15年かかる
- ・ 本格的な取り出し開始は2041年以降の見込み
- ・ 政府が目標とする2051年までの廃止措置完了は、物理的に困難な状況にある

ALPS 処理水放出状況

- ・ 2024年12月4日から17回目の放出を開始
- ・ 1バッチあたり約2,000トン海洋放出
- ・ 技術的には問題なく実施中
- ・ 中国による日本水産物輸入禁止措置が外交問題として継続

最終処分に関する課題

- ・ 制度的枠組みの不備
- ・ 燃料デブリの最終処分に関する法的枠組みが未

整備

- ・ まずは工学的に安全な保管状態の確保を最優先
- ・ 50年から200年程度の保管は技術的に可能
- ・ 社会的受容性の問題
- ・ 処分地の確保が困難
- ・ 福島県内への処分に対する地元感情への配慮が必要
- ・ 全国的な理解促進活動が不可欠

対応事項

政府・経産省:廃炉工程表の見直し検討を継続

NDF:住民対話会の継続実施(16市町村での活動)

関係機関:燃料デブリの性状分析と処分方法の研究推進

政治関係者:超党派でのエネルギー政策議論の活性化

電力業界:オールジャパンでの原子力レガシー問題への取り組み強化

菊島大二郎・原子力損害賠償・廃炉等支援機構(NDF)執行役員が同席。増子輝彦理事長、岡島礼奈理事が出席。

2025年12月 主要活動報告

- 12月1日(月)
 - 森清・三井物産株式会社常務執行役員来所。
 - 一般社団法人未来構想会議第9回理事会開催
理事12名、監事1名が出席。出席理事:河村建夫、増子輝彦、富田茂之、伊藤庄平、大川達也、大久保勉、岡島礼奈、蒲生篤実、蒲原基道、斉藤鈴華、松本千穂、由木文彦。
出席監事:生貝健二。
- 12月2日(火)
 - 岩井勝弘・独立行政法人福祉医療機構理事、藤倉哲平・同機構福祉医療貸付部医療審査課課長代理来所。
 - 小見山幸治・公益財団法人国際人材交流支援機構理事長 兼 株式会社アウトソーシング クエスト代表取締役、荻野健・株式会社アイメイドアルファ代表取締役社長と増子輝彦理事長が懇談。
- 12月5日(金)
 - 村上義・日本貿易振興機構(ジェトロ)ウィーン事務所所長来所。
- 12月6日(土)
 - 増子輝彦理事長と富田茂之副理事長と懇談。
- 12月8日(月)
 - 山名元・原子力損害賠償・廃炉等支援機構(NDF)理事長、菊島大二郎・同機構廃炉総括グループ執行役員来所。増子輝彦理事長、岡島礼奈理事と懇談。
- 12月18日(木)
 - 片岡拓郎・東日本旅客鉄道株式会社(JR 東日本)総務・法務戦略部マネージャー(国会)来所。
 - 目黒桂一・東北電力株式会社東京支社副支社長、長谷川寛・同支社(総務)副長来所。
 - 鍛冶克彦・株式会社商工組合中央金庫専務執行役員 兼 産業革新本部長と増子輝彦理事長が懇談。
- 12月19日(金)
 - 清野智・元東日本旅客鉄道株式会社(JR 東日本)取締役会長、穴吹昌弘・JR 東日本スポーツ株式会社代表取締役社長と増子輝彦理事長が懇談。
- 12月23日(火)
 - 尾川龍二・日本風力開発株式会社総務部専任部長来所。
 - 堀口富美子・日本防災女子株式会社代表取締役来所。
- 12月24日(水)
 - 鈴木幸雄賛助会員、神田貢典賛助会員と増子輝彦理事長が懇談。

[活動報告 | 一般社団法人未来構想会議](https://ffv.jp/activity-report/) <https://ffv.jp/activity-report/> ←毎月の活動報告をご覧ください。

未来構想会議ホットライン

(一社)未来構想会議に対するご意見・ご要望をお寄せください

〒100-6015 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号霞が関ビル 15階 JWD 内

電話: 03-6625-0723 / FAX: 03-6625-0724

E-mail: info@ffv.jp ホームページ <https://ffv.jp/>